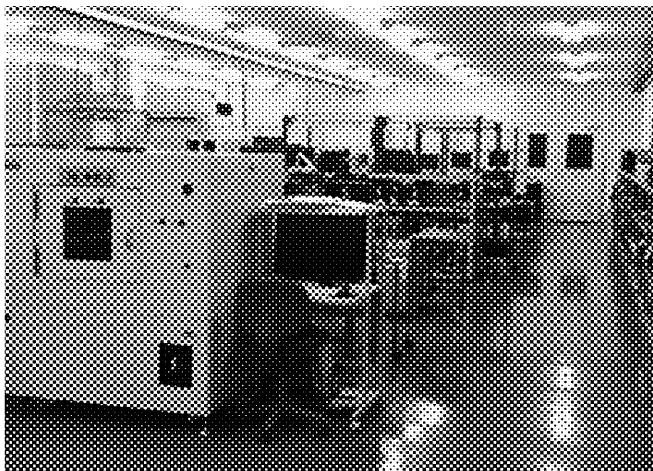




ピオラは福島県いわき市に主要拠点を構える

電子機器メンテナンス拡充

京西テクノス 基板修理を買収

【立川】京西テクノス（東京都多摩市、臼井努社長）は、高度基板修理が主力のピオラ（京都市右京区）を買収した。ピオラは集積回路（IC）の接続にハンダボールを使うボールグッドアレー（BGA）で、リボール・リワーク（交換）を得意とする。京西テクノスはこうした技術を取り込み、主力事業の一つである計測器や電子機器・基板の「修理・延命・校正サービス（KLES）」の体制拡充を図る。買収額は非公表。

京西テクノスは、この市に移転し、社長にはのほどピオラの全株式を京西テクノス社長の臼井氏が就任した。ピオラはBGAのリボール・リワークのほか、基

板X線検査の受託や基板試作などを手がけ、福島県いわき市に主要拠点を構えている。

京西テクノスは医療・計測・情報通信などを重点分野と捉え、電子機器のメンテナンスサービスを展開している。2026年11月には、第2本社と位置付ける「京都事業所」を京都市南区に新設。同事業所での修理体制が整う予定で、これを機に西日本エリアでKLES事業の顧客開拓を進める。

同社のKLES事業の25年9月期の売上高は約16億円。今回のピオラの買収効果や半導体関連への攻勢と成長を通じて、30年9月期に同30億円とする目標掲げる。